

【40】

これまでの荘園

( )

… 寺社や貴族が した

※ 10世紀ごろまでには衰退

◇ の成立

・ の出現 (10世紀後半～)

大名田堵などが新たに未墾地を開発し、 とよばれる

← 朝廷も、未開拓の土地を耕してくれるのはありがたい

→ 臨時雑役などを免除する

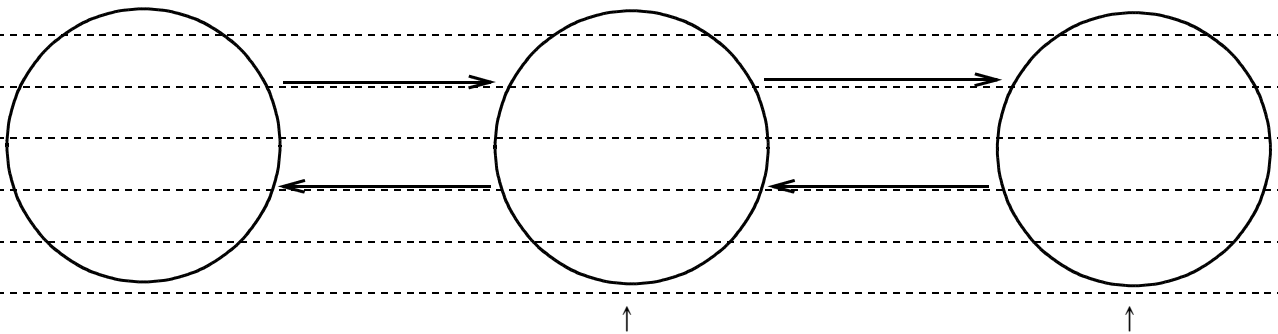
→ 開発領主は となったり、国衙の行政に参加したりする

・ の成立

らの土地支配強化に対し、より上位の貴族 (中央の権力者) などに

土地を し、 にしてもらう

(自らは と言われるような となり、荘園を管理する)



寄進を受けた

荘園領主

重ねて寄進を受けた

上級の領主

(※ 領家・本家のうち、実質的な支配権をもつ者… )

◇ 荘園の権限の拡大

○ の特権 (政府・国衙への官物・臨時雑役の免除)

貴族や有力寺社の権威を背景に、朝廷や国司から税を免除してもらう

・ … ・ などによって税を免除さ

れた荘園

・ … 国司によって税を免除された荘園

○ の特権

・ 国司から派遣された などの立ち入りを認めない